

令和3年 第9回教育委員会定例会議 会議録

1 日 時 令和3年9月29日(水)

開会 13時30分

閉会 14時40分

2 会 場 金沢市役所 第二本庁舎 2階 2201会議室

3 出席委員(7名)

教 育 長	野 口 弘
教 育 委 員	田 邊 俊 治
〃	大 島 淳 光
〃	丸 山 章 子
〃	木 村 陽 子
〃	長 澤 裕 子
〃	櫻 吉 啓 介

事務局

教育次長
担当次長(兼)教育総務課長
教育総務課課長補佐
担当次長(兼)学校職員課長
学校職員課担当課長・管理主事(兼)課長補佐
担当次長(兼)学校指導課長
学校指導課担当課長(兼)課長補佐
市立工業高校事務局長
担当次長(兼)生涯学習課長
図書館総務課長
(兼)玉川図書館長
(兼)近世史料館長、城北分館長
教育プラザ総括施設長
(併)こども相談センター所長
学校教育センター所長

加 藤 弘 行
堀 場 喜一郎
釜 本 賢 治
中 村 健 一
田 村 創
寺 井 義 春
藤 尾 裕
池 田 善 隆
安 宅 英 一
岩 井 隆 之

今 寺 誠

熊 谷 有紀子

4 案 件

議案第24号	金沢市図書館規則の一部改正について	(図書館総務課)
報告第32号	金沢市図書館における電子書籍貸出サービスの開始について	(図書館総務課)
報告第33号	田上校下新小学校建設事業の概要について	(教育総務課)
報告第34号	令和3年度 全国学力・学習状況調査の結果について	(学校指導課)
報告第35号	令和3年度 「金沢市『携帯電話・インターネット』アンケート」の結果概要について	(学校指導課)
報告第36号	新型コロナウイルス感染症による児童生徒の発生状況 およびコロナ禍における学びの保障等について	(学校指導課)
報告第37号	「宇宙産業シンポジウム」の開催延期について	(生涯学習課)

非 報告第38号 令和3年度 金沢市教員採用候補者選考試験
(金沢市立工業高等学校教員)の結果について (学校職員課)

そ の 他

- (1) 令和3年度 金沢市小・中学校卒業式日程について
- (2) 金沢市立工業高等学校の活動状況について(令和3年4月～8月)
- (3) 令和3年度 夏季休業中の教職員研修等について
- (4) 次回の定例会議の日程について

5 議事の経過等 以下のとおり

野口教育長の開議あいさつに続いて、傍聴希望者7名について協議し、傍聴を許可した。次に、議事録署名委員に丸山委員を指名した。本日の議題について、野口教育長が報告第38号を非公開とするよう発議し、全会一致で非公開とすることを決定した。

審議に入り、議案第24号、報告第32号、報告第33号、報告第34号、報告第35号、報告第36号、報告第37号について説明・質疑応答が行われ、原案どおり承認した。また、10月の定例会議の開催日を次のとおり決定した。最後に報告第38号について非公開で審議に入り、原案どおり承認し、閉会した。

* 10月の定例会議の日程：令和3年10月20日(水) 13:30～

[案件の説明及び諸報告について]

案件について、別添資料等に基づき事務局より説明・報告し、原案どおり承認された。

[主な質疑・応答の内容について]

- 議案第24号 金沢市図書館規則の一部改正について(図書館総務課)
- 報告第32号 金沢市図書館における電子書籍貸出サービスの開始について(図書館総務課)
(説明の概要) 議案書2ページ。今回の図書館規則の一部改正は、電子書籍貸出サービスをこの10月から新たに開始することに伴うものである。規則にはこれまで、電子書籍の貸出しについての規定がなかったことから、電子書籍について定義し、貸出しの点数と期間について、1人につき3点まで、期間は2週間までと規定するものである。

議案書3ページ。第7条が図書館の資料の貸出しに関する規定となっており、第2項で電子書籍の定義を定め、次の第3項で貸出しできる電子書籍の数量を3点以内と定めている。なお、貸出し期間の定めは第4項になるが、紙と同様に期間を2週間としたことから、これまでの規定のまま対応が可能であり、改正しない。

議案書7ページ。電子書籍貸出サービスの具体的な内容が報告第32号である。電子書籍貸出サービスは、令和元年6月に施行された「視覚障害者等の読書環境の整備の推進に関する法律」(読書バリアフリー法)やコロナ禍における新しい生活様式に対応するもので、インターネットで書籍の閲覧等ができるサービスである。

特徴は、インターネットを通じて24時間利用が可能で、画面で文字の拡大や文字色の反転等も可能なことである。また、紙媒体ではできなかった読み上げ機能を有する書籍や、音声を再生して聴くオーディオブックの提供、視覚障害者の方が音声ガイダンスに従い操作できる利用支援サイトも開設する。

提供予定の電子書籍は当初は約900点で、その後順次新刊を追加し、今年度中に約1000点とする予定で、読み物、実用書、ガイドブック、資格試験の参考書など幅広い方に使っただけのものを予定している。オーディオブックについては、小説や昔話などを用意している。

サービスの利用対象者は、市内在住・在勤・在学で市の図書館カードの利用登録をしている方。利用方法は、パソコンやスマホ等から専用サイトにアクセスし、図書館カードのIDとパスワード

ドを入力してログインする。なお、パスワードの初期設定は西暦の生年月日8桁としてあり、最初にログインするときに変更していただく。現在、ホームページや館内でのお知らせ、市広報などによりサービスの周知を行っているところである。これまで忙しくて図書館に足を運ぶことができなかった方も含め、多くの方に利用していただきたい。

（特になし）

○ 報告第33号 田上校下新小学校建設事業の概要について（教育総務課）

（説明の概要）議案書9ページ。実施設計が完了した本年3月に概要についてご報告したが、工事着手を前に改めてお伝えする。

校舎の設置場所は田上本町4丁目地内、構造は鉄筋コンクリート造3階建てで、延べ床面積は約9,500m²となる。

施設の特徴は3点ある。①が「想像力を育む活力ある学習環境の創出」である。校舎中央に中庭を配置し、子供たちが好奇心や想像力を膨らませる開放的な環境整備をするとともに、校舎の2、3階には多様な学習形態が可能となるオープンスペースを整備する。

②は「安全・安心な教育環境の整備と防災機能強化」である。普通教室を2階以上に配置するとともに、施設内に備蓄倉庫を設け、各階に多目的トイレを整備する。

③は「木のぬくもりや自然を感じ、地域への愛情や誇りを育む学校づくり」である。教室間の間仕切りや廊下などに木材を多用し、普通教室を南側のグラウンド向きに配置して美しい眺望景観と明るい教室空間を確保する。

校舎の供用開始は、令和5年4月の新学期からを予定している。先般開催された9月定例会において、建設工事に係る契約の締結について議決が得られたことから、起工式の後、工事に着手する。起工式は既にご案内のとおり、10月9日（土）午後1時から開催する。

木村委員

学校名は、これが正式名称ですか。

堀場教育総務課長

今年3月の定例会において、金沢市学校設置条例を一部改正する議決をいただいておりますが、その際は、仮称として議案をお諮りしています。今後、地元と協議しながら新しい学校名を決めていきたいと思っています。

丸山委員

完成イメージを拝見しますと、体育館の上にプールがあると思います。最近の小学校は屋上プールが多いと思うのですが、実際に採用している小学校では、防犯面や使い勝手の点でどのような評価があるのかを教えてください。それから、オープンスペースは体育館の下にあるのでしょうか。また、オープンスペースの主な活用事例を教えてください。

堀場教育総務課長

まず、体育館の屋上にあるプールですが、委員仰せのとおり、防犯上の観点や移動経路の安全面を考え、近年整備している学校については、体育館の屋上にプールを設置するケースが多くなっています。

オープンスペースは、10ページ右上のイメージ図でいうと、「校舎」を示す補助線が入っている箇所2、3階部分に整備する予定です。普通教室内での学習にとどまらず、異なる学年との交流の場とするなど、多様な学習形態に対応できるような場所としたいと考えています。

田邊委員

イメージ図を拝見すると、エントランスは非常にダイナミックで、小学校としてはあまり前例がないような外観だと思いました。子供たちにとっては、通学が楽しみになるのではと思います。内装についても、計画を進めていると思うのですが、何学級程度を想定して設計されているのでしょ

うか。

堀場教育総務課長

本市においては、令和2年度に「木の文化都市・金沢」の創出という方向性を打ち出し、公共施設の整備に関しても、なるべく木を多用する方針が示されています。これまでも森山町小学校、中央小学校、犀桜小学校といくつかの学校建設に着手していますが、今回はこの方向性が打ち出されて以降、初めて設計段階から取り掛かった学校となります。森山町小学校の2倍ほどの木材を利用する予定ですので、木のぬくもりを非常に感じられる学校になると思っています。

学級数については、600人ほどの児童が通学することになるため、全年を合わせて18学級程度を想定しています。

田邊委員

少子化の傾向なので、児童数が急激に増えることはあまりないとは思いますが、35人学級という方針が示されていますので、そのあたりを考慮した学習環境を整備していただければと思います。

堀場教育総務課長

田上校下については、児童数が年々増えていく傾向がありますので、最大24学級程度までは受け入れ可能な学校に整備していく予定です。

○ 報告第34号 令和3年度 全国学力・学習状況調査の結果について（学校指導課）

（説明の概要）議案書12ページ。昨年度はコロナ禍のために実施が見送られたが、今年度は本市の小学校6年生、中学校3年生の全児童生徒を対象とし、5月27日に本調査が行われた。

調査の目的は、児童生徒の基礎的・基本的な知識技能や活用力の定着状況および学習生活状況について把握・分析し、学校における児童生徒への教育指導の改善を図るとともに、教育の指導状況等を把握し、指導法の改善に役立てることである。調査実施数および調査内容、各教科の平均正答率については、資料にお示ししたとおりである。

平均正答率は、国との比較では小学校、中学校の全ての実施教科において3～6ポイント上回る結果となった。また、県との比較では全ての調査において同程度となっており、おおむね良好と捉えている。一方、図や表を関連付けたり、根拠を明確にして自分の考えを説明したりするなどの知識、技能を活用する設問等においては課題が見られた。

次に、質問紙調査の結果概要である。児童生徒質問紙の中から学習指導、ICT機器の活用、新型コロナウイルス感染症拡大による臨時休業期間中の状況に関する質問について、一部抜粋したものを示した。いずれの設問でも肯定的な回答の割合は全国と比較し上回っているが、まだ改善の余地があると捉えている。

調査結果については校長会議等で知らせ、2学期以降、重点的に行う取り組みを具体化するなど、各学校の実情に即した改善策を立て、それらを実践するよう学校訪問等を通じて指導していく。

田邊委員

昨年のコロナ禍にもかかわらず、非常に優れた成果が得られており、子供たちや教員の日々の努力の成果として改めて評価します。また、質問紙調査で子供たちの回答がまとめて示されていますが、肯定的な回答の割合が非常に高いことが改めて確認できて良かったと思います。一方で、学校への質問紙調査も行われています。子供たちが回答したような設問に対して、学校の回答結果が分かれば教えていただきたい。特にICT機器の活用に関しては、取り組みが拡大していますが、学校ではどういう受け止め方なのか、子供たちと学校の間ギャップはないのか、そのあたりをお伺いします。

寺井学校指導課長

学校質問紙については、オンライン授業等ICTを使った学習の準備が整っているかという設問がありました。これについては、肯定的な回答が

大変高い割合となっています。ICTを活用した授業について、各教員が慣れているか、効果的に使えているかという設問については、全国並みのポイント、あるいは全国よりやや高いぐらいのポイントとなっています。

この調査を実施したのが5月末頃で、1人1台の学習用端末が入って2カ月程度ということも影響していると思っておりますが、調査から数カ月経ち、学校側もかなり手応えを感じているのではないかと思いますので、ICTの活用については、今後も教育委員会等で好事例を紹介しながら推進していきたいと考えています。

田邊委員

新しい学びを深めたり広げたりということが強調されているところですが、子供たちの回答結果を見ると、全国との比較においてもかなり浸透している様子が伺えます。同じように、学校ではこの点についてどのように受け止められているのか。学校質問紙調査の結果を子供たちの回答と対比的に見ることができるのであれば、教えてください。

寺井学校指導課長

資料13ページの(1)には、金沢型学習スタイルに係る設問を挙げています。子供たちの回答はここに示したとおりで、これに対応するように「主体的、対話的で深い学び」の具現化についての学校への設問では、「できている」という回答が多かったと思います。

もう一つの課題として、学びが深められているか、あるいは対話が質の高いものになっているかという設問については、「まだ課題がある」と回答する割合がやや多かったと思います。ただ、全国的な状況と比べると、本市は肯定的な回答の割合の方が高い状況ではあります。

田邊委員

先生方も取組課題として推進していただければ、さらに全体のレベルアップも図れると思います。

野口教育長

先生方も子供たちも頑張ったと思います。両方の頑張りの結果が数字に現れているのだと思いました。来年も同じような結果になってほしいと願っています。

○ 報告第35号 令和3年度「金沢市『携帯電話・インターネット』アンケート」の結果概要について（学校指導課）

（説明の概要）議案書15ページ。本アンケートは金沢市立小・中・高等学校の携帯電話やインターネット等の利用状況について実態を把握するため、平成25年度より毎年6月下旬に実施している。調査対象は、小学校は4年生以上の全児童、中・高等学校は全生徒となっている。

調査結果の概要は議案書15～16ページにまとめてあるが、経年比較が分かる別添資料を基に説明する。なお、高等学校については金沢市立工業高等学校1校のみであり、個別の学校の状況になるため、集計結果に掲載していない。

問1のスマートフォンの所持率は、小・中学校ともに年々増加しており、「どちらも持っていない」の割合が減少している。

問2のフィルタリングの設定については、「設定されている」割合は小・中学校ともに年々増加していることから、保護者の皆さまの理解と協力が得られてきていることが分かる。

問3のインターネット接続可能機器については、「ゲーム機」を所持している割合が7割近くと最も多く、次いで「タブレット端末など」の所持率が高くなっている。また、「持っていない」と回答した割合から考えると、小・中学校ともに9割以上が何らかの接続可能機を所持していることが分かる。

問4の1日の使用時間については、1時間以上使用する割合が年々増加するとともに、3時間以上使用している児童生徒も年々増加している。

問5の使い方のルールについては、小・中学校ともに「使う時間を決めている」と回答した割

合が年々増加している。このことから、ルール作りの必要性が家庭でも高まっていると推察される。

問6のインターネットの使用内容については、昨年度までは興味のあることや勉強のための調べものをするとしていた項目をアの「学習に関すること」とイの「動画視聴を含む興味のあることを見たり調べたりすること」に分けて調査したところ、学習とはあまり関係のない「動画視聴等」で小・中学校ともに最も多く使用されていることが分かった。

問7の被害を受けた状況や問8の不適切な行為の状況については、ほとんどの児童生徒が「したことはない」と回答した一方、割合はごく少ないものの「悪口を書いた」「悪口を書かれた」と回答している生徒もいた。これらの児童生徒には各学校が適切に指導、対応をしているところである。今後も児童生徒がトラブルや事件に巻き込まれる危険性もあることから、校長会議等を通じて引き続き指導していきたい。

問9は、インターネットに関する知識理解の状況についての項目である。「(1) インターネット上での誹謗中傷は犯罪である」や「(2) 一度書き込んだ情報は完全に消すことはできない」「(3) 誰が書いたかを調べることができる」については、小・中学校ともに「思う」の割合が増加していることから、各学校での指導の効果が現れてきていると考えている。

今般、インターネットを介したトラブルが大きな社会問題となっている。本市では、金沢市教育プラザ此花少年育成支援室が作成した保護者向けのチラシを配布し、家庭内でのルール作りを促すとともに、各学校では金沢市立小・中学校情報モラル指導カリキュラム表に基づき、情報モラル教育の推進に努めているところである。また、毎年全ての小・中学校においてネットいじめ防止講演会を開催し、外部の専門家を招聘しながら、児童生徒だけでなく保護者も参加できるよう工夫して実施するとともに、保護者懇談会や学校だより等を通して、携帯電話やインターネットの利便性や危険性を周知しているところである。今後とも保護者や関係機関と連携を図りながら、情報モラル教育がさらに充実するよう努めたい。

大島委員

携帯電話、インターネットに関しては以前からいろいろな対策がされていますが、これは学校だけの問題ではなく、家庭での問題がかなり大きな部分を占めていると思います。以前からPTAや育友会が結構いろいろな施策に取り組んでいて、少しずつ改善されていると思うのですが、特に問2の「フィルタリングサービスが設定されていますか」について、「設定されている」と回答している割合が徐々に増えてはいるものの、かなり時間をかけた割に、なかなか浸透していないと感じられます。それから、回答の中で「分からない」と回答している割合も多いので、この部分をもう少し掘り下げる必要があると思います。これは子供たちにアンケートを取っていると思うのですが、フィルタリングサービスは親が機器を買い与えたときに設定すると思いますので、「分からない」という回答は設定されているかどうか分からないということなのか、そのあたりも調査していただくと、この割合も少し変わってくると思います。どちらにしても、引き続き保護者と学校で連携しながら改善していただきたいと思います。

寺井学校指導課長

問2のフィルタリングの状況については、特に小学生はどういう設定になっているのか自身でも分からないケースもありますので、保護者に詳しくお聞きしながら把握していく必要があると思っています。また、委員がご指摘いただいたように、保護者との連携は欠かせないことです。全ての学校で把握したわけではありませんが、学校運営協議会の中でSNSやスマホ等についての危険性を、保護者とともに地域も一体となって取り組んでいく動きもあると聞いていますので、連携しながら進めていきたいと考えています。

櫻吉委員

問9のインターネットに関する内容について、「思う」と回答している

割合が年々増えているのは良いことだと思うのですが、これは100%でないといけない項目ではないかと思えます。「分からない」と回答している割合も決して少なくないので、確かに家庭でも教えなければいけないのかなと思うのですが、やはり学校で教えてあげないと身に付かないことではないかと思えます。先生方は大変だと思うのですが、最低限知っておかなければいけない知識はぜひ学校で重点的に教えていただきたいと思います。

それから、今回のアンケートの項目はこれで以上でしょうか。インターネットやスマホはものすごく便利で良いものだと思うのですが、人体に悪い影響を与えることもあります。既にコンセンサスが得られているような、長時間使用で斜視になるとか、ブルーライトの影響やスマホ・ネット依存など精神的な面もあるということを知って使用すること、知らないまま使用することでは大きく違うと思うので、できれば低学年のうちからそういうことも含めて教えていただければと思います。

寺井学校指導課長

情報モラルの基本は、基本的な知識をしっかりと低学年の段階から発達段階に応じて身に付けていくことにあると思えます。現在も各学校で情報モラルの年間指導計画がありまして、それに基づいた指導をしているところですが、まだまだ不十分なところもあると考えられますので、その辺も含めて学校へ指導していきたいと思えます。また、人体への影響については、今回1人1台の学習用端末が入った時点で、1回使うごとに30分までとか、距離を離すといった使用上の注意も子供向けに作成しています。まだまだ浸透し切っていないところもあると思えますので、健康教育の指導も併せて進めていきたいと考えています。

野口教育長

問3に「インターネットができるパソコン・ゲーム機・携帯音楽プレーヤーなどを持っていますか」という設問があります。子供たちの感覚として、ゲーム機などがインターネットに利用できるということを認識しているのでしょうか。

寺井学校指導課長

学校現場にいたときもそうでしたが、基本的にゲーム機については、インターネットに接続して友達と一緒に対戦型のゲームをしたり、ゲームをするだけではなくて簡単なメッセージをやりとりできたりする機能もありますので、子供たちはインターネットに簡単に接続できる状況であることを理解できていると思えます。

○ 報告第36号 新型コロナウイルス感染症による児童生徒の発生状況およびコロナ禍における学びの保障等について（学校指導課）

（説明の概要）議案書18ページ。「1 児童生徒の発生状況」については、7月下旬からの全国的な感染者数増加に伴い、本市においても、7月21日から夏休みに入って以降、8月中旬のお盆すぎまでは高止まりする状況であった。その結果、8月中に感染が判明した人数は109名となっている。なお、9月においては28日現在で合計18名となっている。

「2 コロナ禍における学びの保障について」と「3 学校職員におけるワクチンの優先接種について」、8月27日の緊急議会後に教育長から、新学期に向けた新型コロナウイルス感染症対策の徹底について教育委員会の対応方針を発表しているが、陽性者発生時の臨時休業措置などについて改めてご説明する。

1学期までの対応は、感染者が判明した場合、まずは学校全体を臨時休業とし、濃厚接触者等の全員の陰性が確認できるまで臨時休業を継続していた。感染拡大時におけるPCR検査の混雑具合の影響を受け、学校再開まで日数を要するケースもあった。2学期からは、感染者が判明した時点で学校全体を臨時休業することは同じだが、濃厚接触者等の特定後、保健所の疫学調査の結果を踏まえ、学年閉鎖、学級閉鎖、または濃厚接触者等の出席停止など、状況に応じた対応を

取ることとし、休業期間を極力短くすることで学びを止めないようにしていきたいと考えている。

この方針に従い、今月に入り金石中学校、馬場小学校、医王山小中学校では、濃厚接触者がいない学年や感染拡大の恐れのない学年ごとに授業を再開する対応をとった。また、臨時休業中には児童生徒の学びを止めないために1人1台学習用端末を活用し、健康観察を行うとともに、オンライン授業を行うほか、学習の定着を図るためプリント等も併用していくこととしている。

なお、学校職員におけるワクチンの優先接種については、学校が調査した結果、接種を希望する教職員が238名おり、希望者全員が9月17日までに1回目の接種を完了し、10月15日までには2回の接種を完了する見込みとなっている。

長澤委員

学校の対応について、2学期以降はより細かく登校できるかどうかの要否を検討し、学びの機会を保障するように努力されている点は大変素晴らしいと思います。1点お聞きしたいのは、保健所の疫学調査に従って対応を決めるということですが、主に関係者からの聞き取りが中心になるかと思っています。その正確性について、どのように学校現場の方々は担保されているのでしょうか。

寺井学校指導課長

保健所の疫学調査の詳細については、私どももなかなか情報を得ることができない部分もあるのですが、保護者や子供たちに対して、大変きめ細かな丁寧な聞き取りを行っていると感じています。加えて、保健所の聞き取り調査に対して教育委員会、学校側もできるだけ協力できるように、検査対象となった時点で学校での行動の調査をできる範囲で行って、保健所と情報を共有しながら、できる限り疫学調査の結果がスムーズに判断できるように連携を取っているところです。保健所の疫学調査については、これは私も専門外ではあるのですが、PCR検査によってウイルス量などの詳細も判明するようなので、そのあたりも踏まえて、教育委員会としては全幅の信頼をおいて対応しています。

長澤委員

学校現場については保健所の方々も知らないことも多いと思うので、学校関係者の方が聞き取りされた内容は、とても重要な情報になると思います。保健所では気が付かないことであっても、学校関係者であればそれに付随していろいろな可能性も付加することができると思いますので、引き続き協力体制を強化していただけたらと思います。

寺井学校指導課長

学校では、授業ではどんな活動をしていたか、友達とはどれぐらいの距離で接していたか、体育のときにはマスクをしていたか、といった情報をできる限り集めて、お互いに共有しています。これは疫学調査の結果を得る上でかなり役立っていると思いますので、連携を十分に進めていきたいと考えています。

木村委員

学校職員におけるワクチンの優先接種についてですが、238名というのは全体の何パーセントぐらいですか。

中村学校職員課長

9月2日の総合教育会議の折に、金沢市の教職員は約2,000名という話を私からさせていただいたと思いますが、その際は、調査途中でしたので、270名ぐらいの希望者がいると報告しました。238名といえますと1割強ぐらいの割合となります。

木村委員

残りの方は何らかの形で接種されているということでしょうか。

中村学校職員課長

各校長からの聞き取りになりますが、接種の予約済である、あるいは接種が完了している方ばかりだと聞いておりますので、先生方はある程度早

めに予約を取り対応されたと把握しています。

○ 報告第37号 「宇宙産業シンポジウム」の開催延期について（生涯学習課）

（説明の概要）議案書21ページ。金沢市宇宙教育推進計画2021に基づき、その具現化策として本年度開催予定であった標記シンポジウムは次年度に延期することになった。計画していたシンポジウムは10月3日（日）の午前中からお昼過ぎにかけて行い、JAXA職員や宇宙開発に精通する学識者等による基調講演およびパネルディスカッションと、宇宙関連企業や大学によるワークショップ形式での交流会を市役所第2本庁舎で行う予定であった。

本市の「まん延防止等重点措置」や全国的な緊急事態宣言地域の適用延長等を受け、JAXA職員や企業等を全国から招聘することが難しくなったこと。また、シンポジウムは市民ならびに学生や宇宙産業に興味を持つ事業者など幅広い方の参加による学習と交流が目的であり、参加人数や開催時間の制限等を伴う開催では本来の目的が十分に達成できないことが想定されることから、延期したものである。

開催予定時期は令和4年10月ごろを予定しており、今年度は宇宙教育の推進と宇宙産業の創出を図るため、次年度に向けた周知・啓発など準備を進めていきたいと考えている。

野口教育長

どういふ方々がお越しになる予定でしたか。

安宅生涯学習課長

コーディネーターとして、基調講演は内閣府宇宙政策委員で東京大学教授の中須賀先生、それからJAXAの人事部長をされている岩本様、企業の方ではSPACE FOOD SPHEREの菊池様、Space BDの永崎様等、宇宙開発において全国的に著名な方がいらっしゃる予定でした。

パネルディスカッション、基調講演、各企業のワークショップ形式の交流会を考えたときに、コロナの状況判断が難しく、全国から金沢へ来ていただくことを断念しました。また、企業が作った部品に触れる機会やVR体験なども用意していたのですが、それがなかなかできないという状況ということで、今回は延期させていただきました。

○ その他（1） 令和3年度 金沢市立小・中学校卒業式日程について

（説明の概要）議案書24、25ページ。卒業式の日程は例年、中学校は公立高校入試後、授業日を2日間確保することを基本として定めている。また、小学校は例年どおり、中学校の卒業式実施後、2日連続で実施することを基本として日を決めている。この考え方に基づき今年度は、中学校については公立高校の入試日が3月8、9日に決定したことから、入試日より2日の授業日を確保し、3月12日（土）午前中に設定した。これに伴い、小学校の卒業式は3月17日（木）、18日（金）の午前と午後に設定した。なお、卒業式の内容等については、今後の新型コロナウイルスの感染状況等を踏まえて対応していきたいと考えている。

（特になし）

○ その他（2） 金沢市立工業高等学校の活動状況について（令和3年4月～8月）

（説明の概要）議案書26、27ページ。一つ目は、全国工業高等学校校長会が夏休み中に主催した高校生ものづくりコンテストの結果である。市立工業からは五つの部門に参加し、ご覧の成績を収めることができた。これからもコンテストへの参加を通して、ものづくり教育の充実に取り組んでいく。

二つ目は、資格取得の状況である。8月までに延べ352名が資料のとおり資格を取得した。本校では例年、延べ1,000名前後が何らかの資格を取得しており、現在も合格を目指して生

徒教職員一丸となって日々努力していることから、後期においても多数の資格取得を期待している。

三つ目は、部活動の成果である。今年度も文化部、運動部がご覧の成績を上げている。文化部では吹奏楽部が県大会で金賞を受賞したほか、運動部ではバドミントン男子団体など5競技が高校総体の全国大会への出場を果たした。これからも部活動を通して生徒の社会性や協調性を養い、人間性の向上を図っていきたいと考えている。

四つ目は、9月以降の主な活動予定である。9月16日からは既に民間企業の就職試験が開始されている。また10月以降、体験入学や金工祭、吹奏楽部定期演奏会などを開催する予定である。コロナ禍により開催時期や規模が例年とは違う形となる行事もあるが、その状況に応じて創意工夫しながら開催に向けて学校を挙げて取り組んでいるので、ご支援のほどよろしくお願いする。

（特になし）

○その他（3）令和3年度 夏季休業中の教職員研修等について

（説明の概要）議案書28ページ。昨年度はコロナ禍で新たに取り組んだ「オンライン研修」が好評であり、受講者数も多かったことから、今年度は従来の集合型研修に加え、オンライン研修を企画するとともに、受講する先生方が「1人1台端末」を持参し、研修資料や振り返りフォームの提出を端末によって行うなどペーパーレス化を図った。

実施講座数および受講者数は表のとおりである。令和3年度は新型コロナウイルスの感染状況により10講座をオンライン講座に変更し、予定どおり研修を実施することができた。56講座となっているのは、保健体育科のダンスの講義を秋に延期したためである。

授業力の向上については、オンライン研修をすることにより小中学校全ての教科の講座を開講ことができ、先生方の満足度も高く、効果的、効率的な研修が実施できたと考えている。

また、GIGAスクール構想を確実なものとするため、1人1台端末活用研修を新設した。さらに、夏季休業期間とは異なるが、昨年度から本年度の6月末までに全ての小中学校を学校教育センターの指導主事が訪問し、ICTを活用して授業力、指導力向上に取り組む研修を終えており、その研修動画を事例・教材共有サイトに掲載し、いつでも何度でも学べるようにした。

17年間続いている中国・大連市への海外教育派遣研修については今年度も中止としたが、大連教育学院等とコロナ禍における学校運用や子供たちの授業の様子などについてオンライン交流を実施する予定であり、内容等について調整を進める。

野口教育長

「ミライシード・ラボ」の活用は全国的に進んでいるのですか。

熊谷学校教育センター所長

6月に「ミライシード・ラボ」に関する研修がありましたが、その段階では全国の中で本市の学校については、クラスで児童生徒が自分の意見等を送り共有できる「オクリンク」を最も多く使用しているというお話を頂きました。

野口教育長

学校現場を訪問しても、子供たちは学習用端末を本当に上手に活用している様子も見取れるので、ぜひこういった研修が学校現場に生かされることを願っています。GIGAスクール構想が前倒しとなり、今年度は本来プログラミング教育を推進していく年ではなかったかと思うのですが、その部分が見えにくくなっているのではないかと少し心配しています。

幾つかの学校を訪問し様子を見てみると、学校指導課で作られたカリキュラムに基づいて一生懸命やっているというのが見て取れますので、現場の方で困りごとがあったら相談に乗っていただければと思っています。これは学校指導課の方にもよろしくお願ひしたいと思ひます。

以 上

会 議 録 署 名

教 育 長 署 名

教 育 委 員 署 名

(丸山委員)

[非公開議案の審議結果について]

○ 議案第38号 令和3年度 金沢市教員採用候補者選考試験（金沢市立工業高等学校教員）の結果について（学校職員課）

審議結果についても非公開

以 上